

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	50	定期的な消防及び地震、土砂災害等の防災訓練を行っているが、地域との合同訓練等は機会も少なく行えていない。災害時の地域との連携や協力等についても確認を要する。	地域で行われる防災訓練等がある場合には極力参加し、災害時に連携が図れるようにする。	運営推進会議や市町村等から地域での防災訓練等について情報を収集し、職員及びお元気な利用者の方等、少しずつでも参加できるようにしていく。	6 か月	
2	39	年間行事等、施設で開催される行事等については地域の方も大勢来られ交流も図れているが、敬老会やその他のイベント等への参加が少ない現状がある。	地域で行われるイベントに無理のない程度で参加し交流を図り楽しみが持てる。	ご利用者の心身状態に配慮し施設の体制等を調整しながら、場合によってはご家族の方のご協力をお願いし、地域で行われる行事等へ参加し交流を深める。	6 か月	
3	40	運営推進会議には地域の方や行政及び有識者の方等に参加頂いているが、ご利用者やその他の参加及び新たなメンバーの追加等については不十分な点もある。	今後は利用者の参加及び、関係機関の方等、メンバーの増加や入れ替えを検討し、会議内容の充実や他職種間との交流を更に深めていく。	ご利用者や、ご家族及び、地域の方等に運営推進会議の趣旨や目的を理解して頂き、可能であればメンバーの入れ替えや増加を検討していく。	6 か月	
4	10	ご利用者には日頃から声かけや対応について注意しているも、何気ない言葉かけ等で、ややプライバシーに欠けたり誤解を招くような場面が見受けられる。	再度ご利用者に対して一人の人間として尊厳を持った対応ができるよう努めていく。	一人ひとりの生活歴や心身状態をしっかりと確認、把握し、複数おられるご利用者の一人ではなく一人として向き合い対応していく。また、研修等でもプライバシーや虐待等について学習し、職員全体の意識を高めていく。	6 か月	
5	5	日々の業務の中での取り組みや工夫等、様々な場面で検討、対応しているが、それらの内容を具体的な記録に十分残せていない状況がある。	日々の出来事や気づき、その他ご利用者の言動等を適切に記録に残しケアに活かしていく。	日常業務の中でのご利用者の経過を、簡潔かつ分かり易く記録に残せるようミーティング等でも話しうと共に、記録用紙等、様式についても状況に応じて変更する。	6 か月	

- 注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
- 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。
- 注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告して下さい。
- 注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓ 該当するものすべてに○印 )	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )